

## 平成27年度第1回大府市総合教育会議議事録

招集年月日 平成27年5月8日

招集場所 大府市役所 庁議室

開 会 13時30分

閉 会 15時00分

### 委 員

市 長	久野 孝保
教育委員長	竹中 万里
教育委員	河合 昌和
教育委員	永田 司
教育委員	日比 靖子
教育委員	浅井 宣亮
教育長	細谷 正明

### 委員以外の出席者

副市長	岡村 秀人
教育部長	内藤 郁夫
学校教育課長	大島 將嗣
学校教育課係長	長坂 規代
学校教育課係長	中村 正樹
学校教育課主査	稲垣 七重
企画政策部長	池田 裕一
企画政策課長	久野 信親
企画政策課主幹	橋爪 秀信
企画政策課係長	川出 陽一

傍聴人なし

### 協議・調整事項

- (1) 総合教育会議運営要綱の制定について
- (2) 「大綱」の策定について
- (3) 教育を取り巻く課題について意見交換

発言者	要 旨
教育部長	<p>皆さま、本日は第1回総合教育会議にお集まりいただき、ありがとうございます。</p> <p>本日は最初の会議ということで、協議・調整事項の一つ目に総合教育会議運営要綱の制定を予定しております。運営要綱が決まるまでの間、私、教育部長の内藤が進行を務めさせていただきますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>それでは、次第に沿って進めてまいります。</p> <p>始めに、大府市長よりご挨拶をお願いいたします。</p>
市 長	<p>皆さん、こんにちは。お忙しいところ、総合教育会議にお集まりいただきありがとうございます。法律が変わりまして、総合教育会議が出来ました。本来は、市長が総合教育会議を招集し、会議を進行することになっています。</p> <p>この総合教育会議のねらいは、首長が教育行政や教育委員会に対しあまり責任を果たしていないということで、選挙で選ばれた市長がきちんと教育委員会に関しても責任を果たすべきではないのかという世論を受けて始まった会議です。それから、教育委員となった人もちゃんと責任を持ってくださいということです。教育長には、教育委員会の代表としての責任を果たしていただきたいと考えております。</p> <p>その一方で教育というのは、戦前の反省で政治等々の中立性をきちんと保障されなければならない。協議設定を総合教育会議で行うことになっているため、市長も決定に関与していますが、教育委員会に関与していることは理解しつつ教育計画等の中身につきましては教育委員会にお願いしていきたい。これはこの法律改正でもきちんと示していきたい。固く決意しております。しっかり広報していきたい。</p> <p>中立性という考えが行政委員会が戦後アメリカから出てきて、日本にはなかったわけですね。アメリカから日本にやってきた制度で今までなかったわけで、それを日本で根付かせて育ててきたわけですし、私は、作りつつある、育てつつあるという認識です。中立性、独立性、継続性は、そういったもの育てていけないと、あるいは作り上げていけないといけないと思う。ただ守ってだけではいけない。私は育て上げる方で考えている。新しい教育会議でも、しっかり作り上げていく姿勢でなくてはいけない。その2つの意味を交えながら、様々な人の力をお借りして教育会議を運営してまいりたいと思いますので、ご理解をお願いしたい。</p> <p>その中で具体的にどういう運営をするんだというのが今日の話。議題の中に入っているわけですが、イメージとしてイギリスの政治展開「君臨せずとも統治せず」という言葉がよくありますが、これはイギリスの長い歴史の中で作られてきたもので、王政は政治に関与しなくなった。それに近いイメージ。私としては教育のことは教育長、教育委員長にお任せして、もちろん私と一緒に発展していきたい。</p> <p>いろいろな問題が起きてくると思いますので、その都度話し合いながらいろんなことを決めて進めていきたいと思います。</p> <p>これは日本全国いろんな解釈がある。いろんな形が作られると思う。大府市にとっても最善の方法を見つけていきたいと思いますので、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。</p>
教育部長	<p>ありがとうございました。</p> <p>次に、教育委員長よりご挨拶をお願いいたします。</p>
教育委員長	<p>教育委員長の竹中でございます。</p> <p>教育委員会の新しい時代がスタートします。この総合教育会議においては、今まで以上に活発な議論が深められて、この大府の子ども達のためのよりよい教育環境が整えられると期待したいと思います。教育はいうまでもなく、大府市の発展、さらには国の繁栄のためにもっとも重要な仕事だと思います。本日はよろしくお願いいたします。</p>

発言者	要 旨
教育部長	ありがとうございました。 続きまして、本日お集まりの皆さんの自己紹介をお願いいたします。
	(名簿順に自己紹介) ※市長、教育委員長は省略
教育部長	ありがとうございました。 それでは、次第の「3 協議・調整事項」に入ります。 (1) 大府市総合教育会議運営要綱の制定について、事務局から説明をさせていただきます。
学校教育課長	(運営要綱の内容説明を説明)
教育部長	大府市総合教育会議運営要綱を説明させていただきました。 何かご質問等がございましたら、お願いいたします。
浅井委員	確認ですが、第2条第3号「会議は、緊急を要する場合は、市長と教育長のみで開催することができる」というのは、どのような状況を想定していますか。
学校教育課長	例えば、いじめの問題で緊急に対応しなくてはいけない時、また、児童生徒の生命や身体に危害がおよぼされる場合等です。そういった場合を想定して、緊急の場合は、市長と教育長のみで開催できると定めさせていただいております。ただ、市長と教育長のみで開催はできますが、これは、教育委員会で審議がされたり、意思決定が教育委員会での教育長に一任されている場合の範囲内で認められているということでございますので、委ねられている範囲外に関しては、市長と教育長で開催しても結果については一旦保留という形で対応し、必要に応じて、市長との調整が必要な場合にそのような運用をするようにと文部科学省より通知がきています。
教育部長	ありがとうございます。その他ございますか。
市 長	この制度改正の発端というべきPRですよ。取組み自体には「第4条 会議の議事進行は、教育長が行う。」この場合では、新教育長ということですが、本市の場合、経過措置をとっておりますので、現教育委員長にお願いするということになります。私は、首長というものは「君臨せずとも統治せず」これで行きたいと思います。この総合教育会議もきちんとやっていきたいと思っておりますが、会議の運営については教育委員会にお任せしたいと考えています。新教育長になったら会議の運営も教育長にお任せしたい。私は常に「教育」にタッチしていないわけですから、常に専門家である教育長がやっていった方がベターであると思っておりますので、このような運営要綱案を出させていただいております。事務局に関しましても、首長部局がやるところを補助執行という形で教育委員会にお願いする。この方が大府的だと思いますので、意見があればお聞かせください。よろしくお願いいたします。
教育部長	その他にございませんか。
	(なし)
教育部長	ないようですので、(1) 大府市総合教育会議運営要綱の制定については原案のとおり

発言者	要 旨
	了承するという事によろしいでしょうか。
	(異議なし)
教育部長	<p>反対意見もございませんので、了承いただいたということで、これ以降は、本運営要綱に沿って進行してまいります。</p> <p>改正地教行政法において、教育委員会の主宰・代表者は教育長と明記され、本会議の運営要綱第4条に、「会議の議事進行は教育長が行う」とあります。ただし、現教育長の任期中は教育委員長が代表でございますので、これより会議の進行は、竹中教育委員長、よろしく願いいたします。</p>
竹中委員長	<p>(委員長席に移動)</p> <p>経過措置の進行役ということで、不慣れで頼りないですがよろしく願いします。それでは、これより進行役を務めさせていただきます。円滑な会議運営にご協力をお願いいたします。</p> <p>協議・調整事項の(2)「大綱」の策定について、事務局から説明をお願いします。</p>
教育部長	(資料により説明)
竹中委員長	<p>ありがとうございました。</p> <p>ただいま事務局から、大綱の策定については、現行の大府市教育振興基本計画の期間である平成28年度までは、当該計画をもって大綱に代えることとし、平成29年度からは、新たに大綱を策定していきたいという説明がありました。</p> <p>委員の皆さん、何か質問等ございませんか。</p>
市 長	<p>大綱の意図するところは、首長が作成するという事になっていきます。ただし、部長からもお話があったように、私も今の教育振興基本計画に沿った形で進めて十分だと思っておりますので、皆さんがよければこの案で進めていきたいと思っております。</p>
竹中委員長	他にありませんか。
河合委員	<p>市長さんが言ったことに賛成します。それぞれいい知恵で指針を出している。行政の方々のご尽力でこういうことができているので、それに従ってやる方が同ってやっていく方が健康か。ご存知のとおり、この制度はまだ充分でない部分がありますので、良い部分を残しながら周りを読みながら行く方が無難というご無礼ではありますが、私は全体がうまくいくだろうと思っております。今、お話がありましたとおり、当面は現状のルールを進めていく方がいいと思っております。</p>
永田委員	<p>新しく平成29年度から大府市教育振興基本計画は平成28年度からということなのですが、具体的にはいつごろから行うのか。</p>
学校教育課長	<p>大府市教育振興基本計画は、平成28年度から作成します。新年度に入ったらすぐ取り掛かれるように実質1年半前から取り掛かります。</p> <p>実質、その準備期間で今年度より始めてまいります。具体的には決まっていないと思っておりますがよろしく願いします。</p>

発言者	要 旨
永田委員	これを見ると結構前からやっているが。
学校教育課長	だいたい1年半前ぐらいから動き出します。
教育部長	会議をやるかどうかは分かりませんが、準備はこれぐらいの時期より進めていきたいと思う。
竹中委員長	<p>ないようですので、(2)「大綱」の策定については【意見のとおり調整する】ということによろしいでしょうか。</p> <p>反対意見もございませんので、事務局はそのように事務を進めてください。</p> <p>では、(3)教育を取り巻く課題について意見交換に移りたいと思います。</p> <p>この会議は大府市の教育を市長と教育委員会で一緒になって考え、推進していく会議ですから、ここで大府市の教育行政について、各委員の皆さんが考えてみえることや、疑問に思っていること、今後の会議で話題としていきたいことなど、少し自由に発言していただきたいと思います。</p> <p>今回は、この度の教育制度改革を受けまして、総合教育会議などの枠組みをどのように活かしていくべきか、また、市長と教育委員会がどのような課題について共同して取り組んでいくべきかといった点につきまして、ご意見を伺っていきたくと考えています。自由に議論していただく場になりたいと思いますので、どなたか協議・調整したいと思う課題がありましたらご発言願います。</p>
市 長	<p>この会議に参加することで教育委員会とはコミュニケーションを取っているが、市長に予算権限がございますので、これにつきましては皆さんのご意見をいただきたい。ただ、すべてがすべてということではございませんので、意見をいただき調整していきたい。その他に別のルートで予算請求をする場が市長部局でありますので、それはそれでやっていきたい。先生方から特別に何かあれば言っていただければと思いますので、ご安心ください。</p> <p>特に ICT に関しては、先生達の強い要望で私が予算を付けたということにはなっていませんが、非常に新しい事業ですので、先生たちにも負担になることがあるかも知れません。極力、やわらげるようないろんな装置を付けておるつもりでございます。たとえば、各校に支援員等の配置については付けさせていただきました。事前にやらないと先生たちのご負担が大きくなるということで付けさせていただきました。あるいは今日、地下のホールにて2回目のデジタル教科書の展示会を開催しております。まるまる2日用意してある。ぜひ、お時間があれば見て欲しい。そういう機会を作っております。</p> <p>総合教育会議を通じて、いろんな方の意見をちゃんと聞きとって、必要なぜひ新しい時代の子どもたちにとって必要なものであるため重視していきたい。有意義のある会議にしていきたい。今のところ、財政的にも余裕はありますが、経済状況が変動するかもしれない。こういったものに対しては、福祉もそうですが予算を削るのは最後の最後にしたい。児童課の方は経営の効率化を目指してかなり早い段階から取り組んでいます。対応をお願いしたい。冒頭にもお伝えしましたが、かなり重要なことだと思っておりますので10年20年後の話だと思って非常に重要なことだと思っておりますのでしっかりと議論していきたい。</p>

発言者	要 旨
浅井委員	<p>話が変わってしまうかもしれないが、私の親友は娘が中3で埼玉に引っ越したんですが大府で住んでいたころはいろんな話をしていました。まず、「給食は大府の方がおいしい」という話がありました。中学生の語彙力が少ない。びっくりする。大府の時はいろんな話をしていたが、「かわいい」「キモイ」という言葉だけで会話が成立していると言っていた。ライン等が発達している。しかも、提携ワードをポンポンうった方が楽。会話が成り立ってしまう。すぐ出てきてしまうのでますます語彙力が少ない。ICT教育は悪いものを埋めるという役割がある。もう1つはやっぱり、語彙力が少ない中学生の知識を増やす。大府を守るという面でそういった子どもたちが増えてしまうのを防いで欲しい。</p>
市 長	<p>ICT教育を進めることで「どうなるか?」ということを知りたい。漢字を覚える能力の低迷に歯止めをかけて欲しい。もっといいものにして欲しい。</p> <p>それでいつも使うのは什の掟。会津の日新館で守られてきたものの最後に「できないものは「できない」、「ならぬものはならぬ」、「してはいけないものはしない」、「しなくていいものは「しなくていい」、これが書かれている。ポチャブラリーがそんなものにばかり依存しているから阻止すべき。ICT教育の良い側面を伸ばして欲しい。同時に「やっちゃいけない」「守らないといけない」ことを正確に把握して欲しい。</p>
永田委員	<p>スマートホンについて私の息子が中学生にいまして、今年はクラスで8割が携帯電話を持ってくる。去年はもっと少なかった気がするが、その中でラインが流行っていて、私の友達の子どもはグループに入った途端にラインのやり取りがある。音がならないようにしているし、極力関わらないようにしているが、学校で制限をかけるのは難しい。当然、中学校に持っていくのはダメでしょうし、学校以外でもグループを作ってやっていることがすごく多い。子どもにとっては持たせないと仲間外れになっちゃうんじゃないかという懸念があって。学校でどういうお考えなのか聞きたい。どういうグループはダメだという規制も、必要なのでは?うちは持たせていない。</p>
日比委員	<p>私の知り合、にも、子ども悩んでいる。「返さないといけない」、「返すと自分の自由の時間を奪われる」、「やりたくないけどやらざるをえない」、「お母さんに取り上げられるからこれから先は返信できない。うちのお母さんのせいにして、うちのお母さんは厳しいから21時になったら取り上げられる」という理由で友達の中では時間があればいつでも送ってくる。女の子は返さないと学校内の立場に関係している。しかも、「いいね」という簡単な言葉ではダメ。そのため、気がつけば2~3時間経過している。本人は部活もやっているため、勉強時間に充てたいにも関わらずその時間に食い込んでくる。親子共々どうしよう。でも、自分からやらないということはいじめられるからできない。本当に戸惑っているお母さんがたくさんいる。本当に強さを持っているお子さんは「やらないよ」と言えるからいいんですけど、なかなかそれが言えないお子さんはお母さんまで「どうしよう」とお母さん同士で悩んでいる。</p>

発言者	要 旨
教育長	<p>スマホの話をし出すと「それは家庭の問題でしょ」という言い方になってしまう。家庭でもそのことは分かっている。でも、「学校でも指導してよ」と下駄の預け合いになってしまう。例えば、この問題について刈谷市が大きな決定をしてくれて、その後、刈谷がどうなっているか分かりませんが。今、大府市が目指しているのは、自分達の問題として考えられるのではないか。中学生だからもう考えられるんじゃないか。大人が入るのは理解できますが、その前にまず自分達の問題として取り組もうじゃないか。大人に話しかけるのは大切だが、まずは自分達で考えてみようかと。市は働きかけています。大府北中の昨年の1年生は、総合的な学習でスマホを取り上げた。自分達で考えて自分達のルールを作成して実施した。結果、生活改善へ繋がった。こうした動きを広めつつ、生徒の力を活用しながら、最終的には学問、中学生議会でなんらかのメッセージを発信できたなら素敵だと思いながら各学校、特に中学校に関しては声掛けをしている。保護者対象生徒対象向けのスマホマナー講座を実施したところです。知多市はPTA等で実施しているようだ。それは実効性があるかはわからない。</p>
河合委員	<p>子ども達の内面の中にきっちりしたものができていかないと、規制だけでは解決できない。私や教育長が説明したように一番思っている。</p>
市 長	<p>ここまでになってくる最低限のルールを作るべきだ。学校、家庭、地域を巻き込んでもいいが、この3者くらいでモラルで終わらせるのではなく、ルール化をしなくてはいけない。モラルは基本だが、この周辺でルール化していくべき。やってはいけないことをやらない。確かにルール化は嫌ですよ。でも、ルールにしないと止められない。ここまできちょうとルール化は必要だと思う。あんまり厳しくしてもあれだから、体系づいたルール化。ぜひ、ICT教育に組み込んでいただきたい。体系的に作成させたい。最低限のルール「返事は返さなくてもいいんだよ」といったこと。</p>
永田委員	<p>今の話、家は家、学校は学校だと絶対にダメだと思う。こういう心持ちはうまくいかない。両者と個人と地域の三者でやらないとできない。親も子ども気になる。守れる子も守れない子もいる。親も子も守れるルール。義務教育の中では「大府」というルールの中で生きている。とりあえず、大府版でルールを作成すべき。ルールを作れば他のことができる。大府版では対応できないケースが出てくる。そのため、自分に歯止めをかけられるだけの力が必要。理想かもしれないが、考え方の基礎を作れば、そういうものに対応できると思う。</p>
教育長	<p>私もスマホデビューしました。ラインデビューもして、確かに便利です。</p>
市 長	<p>私もガラケーと持っていますが、やっぱり言った通りになっていく。</p>
河合委員	<p>中学生になればもうちょっとコントロールできる力は持っていると思うんですが。</p>

発言者	要 旨
<p>教育部長</p>	<p>学校への取り組み。二極分化をおっしゃったんですが、先生が状況はしっかりつかんでおくべきだと思います。そのためには、中学生であれば大府北中みたいにコンスタントに教育すべきだ。例えば、返信を返さないと本当は個性がある子なのに「ウザい」という言葉で外れてしまいくられてしまう。「ウザい」とか「かわいい」とかで自分の性格がなくなってしまう子どもたち。教育の場面の中で自分らしく生きることは、自分の言葉で表現する教育が私は大切だと思う。こういう状況に困っているのなら、まずは学校ごとに状況を把握して生活を守るためにどうしたらいいかということが、当然職員会議の議題になるべき。調べて欲しい。取り組むべきだと私は思うんです。私がいいたいのは中学生になったなら、自分生活にはルールは大事ですが、違う視線で保護者や先生たちも責任を持ってみるべき。</p>
<p>浅井委員</p>	<p>ラインとかをすることで、実際の会話にも繋がって会話障害にも繋がるのではと思うんですが。昔なら、電話で話していたものをタブレット等となると対面で話すのが苦手になるのでは。先ほど、市長も言っていたが、英語教育とか国際化と言われていますが、昔、アメリカでお坊さんをやっていましたが、日本人が大きな勘違いしているのは、「英語が話せれば海外の人とも話せる」と思っていることだ。なぜかという日本語が話せる者同士が打ち解けられるか。日本の人はラインで済ますのに、英語が話せると打ち解けられるかというそれは別問題。日本語の勉強も必要だと思いますがラインの問題は勉強時間ということだけではなく社会人としてやっていく上で非常に重要な問題です。こういう話題を積極的に出していきたい。</p>
<p>市 長</p>	<p>実態をよくみて欲しい。先生も保護者も実態について非常に危機感を抱いている。秋に全児童生徒対象（小学3年以上）に大府市の子ども端末を含む利用実態を把握する。現在は全国的な傾向で概ね全国的にこういう深刻な状況が続いている。ラインは便利だけどずっとやらないといけな。それを何百件もある。時間がない。それはモラルがないだけでは。現実と現場は違う。それに対するモラルにも注目。止めたい子もいる現実。子ども達に大人のアドバイスを受けながら考えてさせる機会を自分達で考えさせる機会を。就職する頃には自分という「自己」が生まれていく。強さが出てくる。今は免疫のない状況だからできるだけ大人たちが守る。ラインでの行動はできるだけ守る。主体は子どもたちという形をなんとかとれないか。方向として今のやり方を取っていくと非常にやりやすい。4年生、6年生は現実にはたくさんあると思う。僕たちの生活を教師と生徒の信頼関係があれば学校に上がって当然だと思う。</p>
<p>日比委員</p>	<p>学校には上がってきていない。</p>
<p>市 長</p>	<p>学校には上がってきていないですか。</p>
<p>河合委員</p>	<p>実際に子ども達が困っているかどうかわからない。</p>
<p>教育長</p>	<p>困っているという子どもと大好きという子どもがいると思う。で、大好きという子どもがいると一気に状況が変わる。これをいかに抑えるか。ラインだとクラスという枠組みが違う。「あなたがやっている行動が周りに迷惑をかけているのよ」と気づかせてあげるのが大切。</p>



発言者	要 旨
竹中委員長	<p>それでは、ご意見も出尽くしたようですので、これで議題3を終了いたします。 事務局の方から、今後の日程について説明をお願いします。</p>
学校教育課長	<p>(説明)</p>
竹中委員長	<p>ありがとうございました。 ただいま事務局から、今後の日程について説明がありました。</p> <p>委員の皆さん、何か質問等ございませんか。 (なし)</p>
竹中委員長	<p>他にありませんか。 (なし) ないようですので、委員の皆さん、日程の確保をお願いいたします。</p> <p>次に (5) その他 ですが、委員の皆さん、何かございますか。 (なし) 事務局、何かありますか。 (なし) 以上で、本日の会議を終わります。</p>